

# 令和元(2019)年産なしの管理ポイント (第4報)

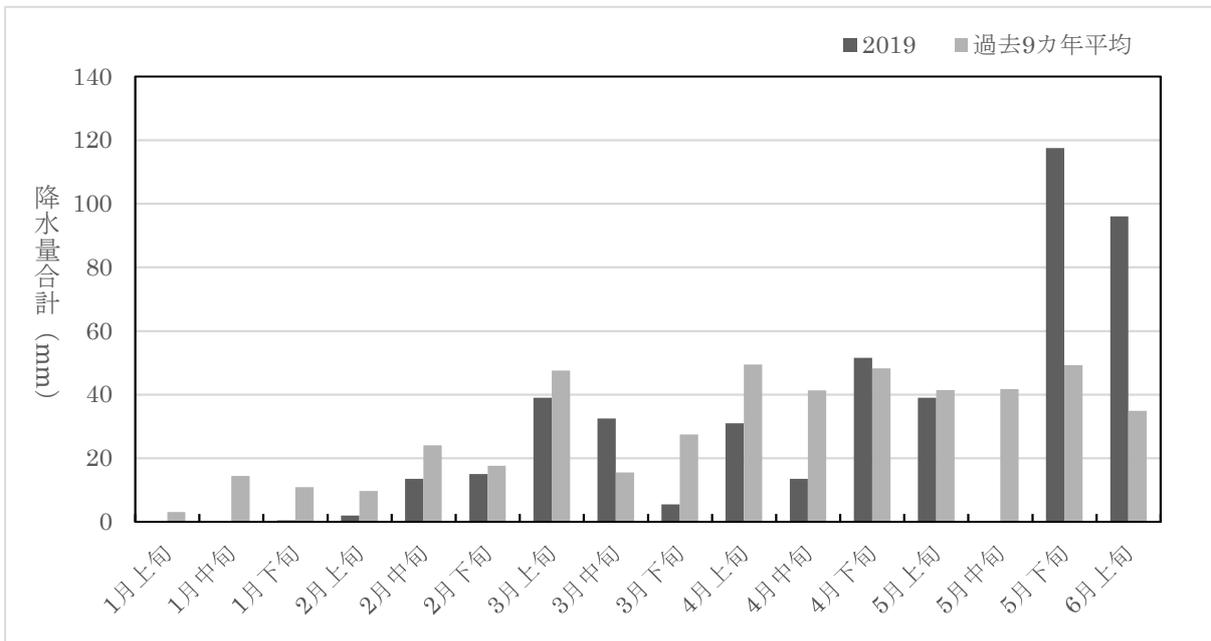
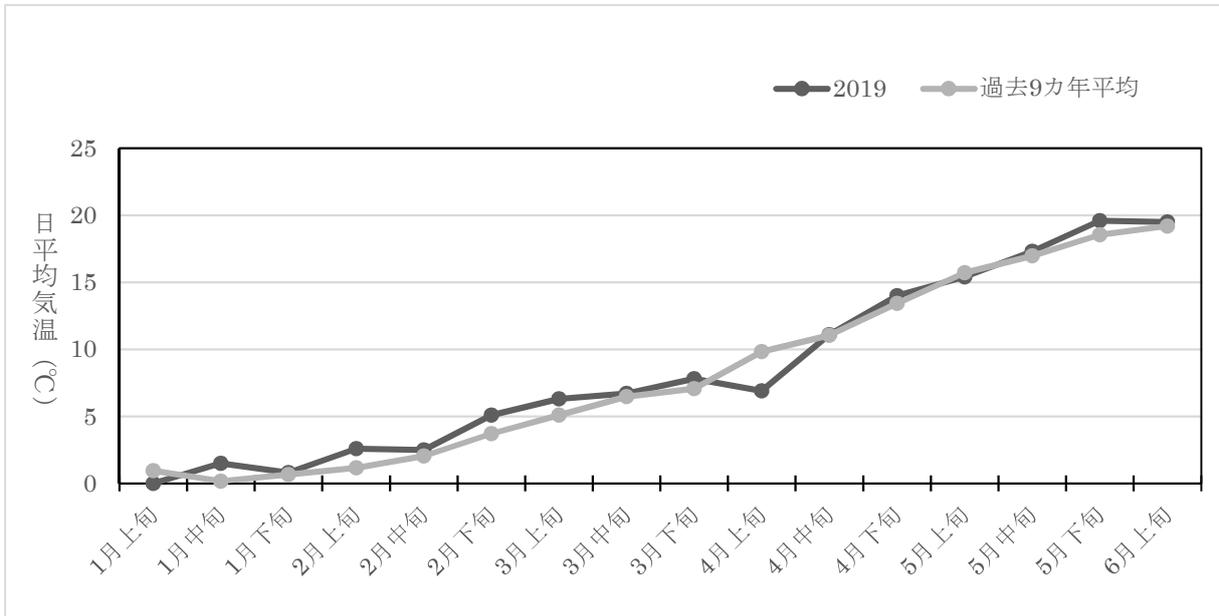
令和元(2019)年6月12日  
栃木県塩谷南那須農業振興事務所経営普及部

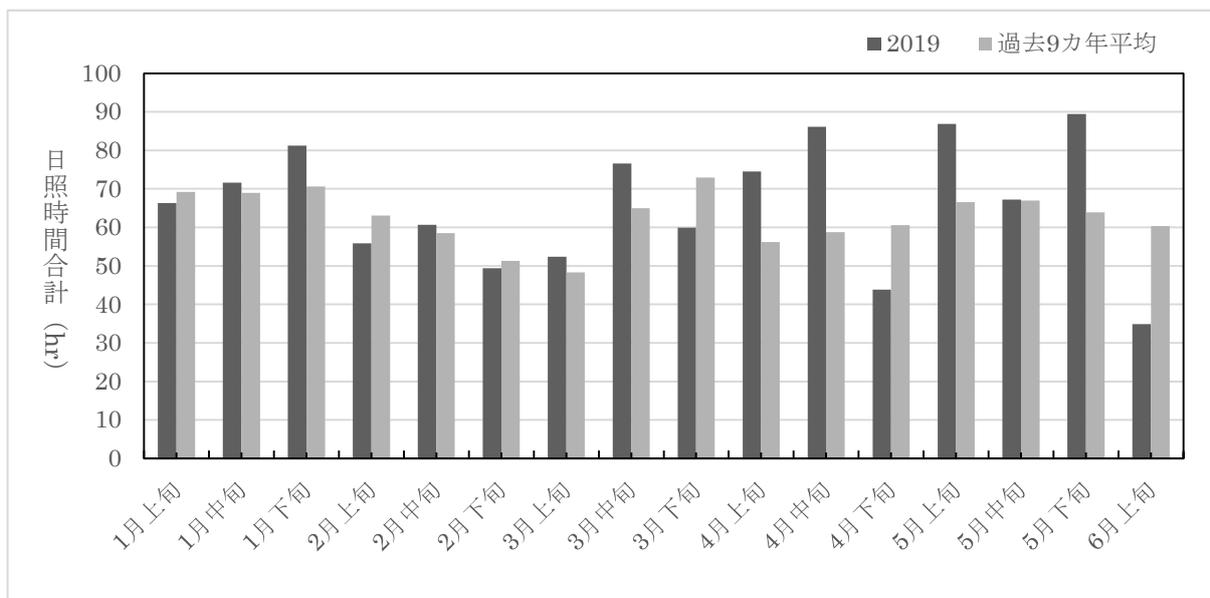
## ☆今回の管理ポイント

- 仕上げ摘果は「豊水」や「新高」、「にっこり」等は着果量をよく確認してから行う。
- 5月がやや高温で、7～8月に曇雨天日が多くなる予報なので、黒星病対策や新梢管理、果肉障害対策を徹底する。
- カメムシ類やハダニ類が早い時期から発生が見られるので、園内をこまめに見回り、早期防除に努める。

## 1 気象経過 (アメダス：那須烏山)

平均気温は、5月上中旬は平年並だったが、5月下旬はやや高かった。降水量は5月中旬は皆無だったが、5月下旬以降は平年より多い。





## 2 結実状況

「幸水」、「あきづき」はおおむね良好だが、「豊水」、「新高」、「にっこり」等は平年よりも少ない園地が散見される。

## 3 果実肥大状況

### (1) 生育診断ほの果実肥大状況

これまでのところ「幸水」は平年並、「豊水」は平年よりやや小さい。

表1 管内生育診断ほの果実肥大状況（那須烏山市福岡）

品種名	開花盛日	果実横径 mm		
		満開後30日	満開後40日	満開後50日
幸水	4月24日	20.8(100)	26.8(101)	
豊水	4月21日		24.9(98)	28.0(95)

※カッコ内は平年比

## 4 当面の管理ポイント

### (1) 仕上げ摘果

「豊水」、「新高」、「にっこり」等は着果量をよく確認してから行う。実施時期や方法は下表2を目安に行う。

表2 仕上げ摘果の品種別実施時期と方法

品 種	時 期	具体的方法
幸 水	満開後50日まで	①最終着果数の1割増しにする。 ②小玉果、有てい果、変形果、傷病果を落とす。 ③上向きの果実、果梗が短かい果実、棚線に掛かっている果実を落とす。 ④棚線や枝に挟まれそうな果実を落とす。
豊 水 あきづき	満開後60日まで	
にっこり	満開後60日まで	

表3 品種別の最終着果数及び目標収量（目安）

品 種	着果数（個）		目標果重 （g/個）	目標収量 （kg/10a）
	10a当たり	樹冠1m <sup>2</sup> 当たり		
幸 水	8,000	9	350	2,500
豊 水	9,000	10	450	3,500
あきづき	9,000	10	500	4,000
にっこり	6,500	7.2	850	5,000

※着果数は商品化率90%、樹冠面積占有率は90%で算出。

## (2) 病虫害防除対策

### ①黒星病

- ・ 平年より発生は少ないが、7月に曇雨天日が多くなる予報なので、今後発生が多くなるのが懸念されるため、罹病部位を摘み取り園外持ち出しの上土中埋却処理を徹底するとともに、薬剤散布は雨前散布を基本とする。
- ・ 降雨が続く場合は少雨時に薬剤散布を行い、散布間隔が12日以上空かないよう留意する。
- ・ 治療効果が高いQo i 剤やDMI 剤は、スピードスプレーヤの速度を落とし、薬液が葉などに十分かかるように留意する。

### ②カメムシ類

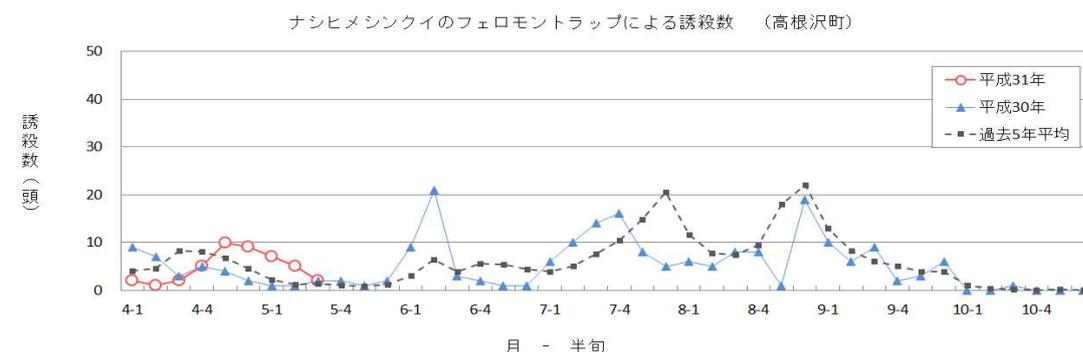
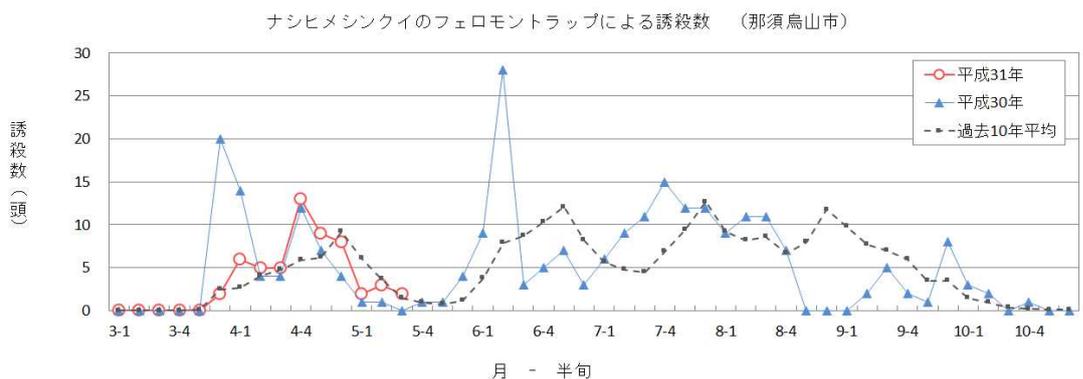
- ・ 県農業環境指導センターのチャバネアオカメムシ誘殺数調査によると、4～5月の誘殺数が多く、今後果樹への飛来が多くなる可能性があるため、発生状況に注意する。

### ③ハダニ類

- ・ 予備摘果の時期から発生が見られている。
- ・ 発生密度が高くなると薬剤散布を実施しても発生が止まらなくなるので、園内をこまめに確認し、早期防除に努める。
- ・ 園内の草刈りを行うと樹上に上がってくるので、草刈り後に発生状況を確認の上防除を行う。

### ④ナシヒメシンクイ

- ・ 第一世代成虫の発生ピークは那須烏山市で6/16頃と予想されるので、この一週間後（幼虫期）が防除適期となる。



### (3) 新梢管理

- ・ 7月に曇雨天が多くなる見込みなので、新梢伸長停止期に（6月下旬～7月上旬頃）予備枝や新梢の誘引を徹底し、来年のえき花芽着生と本年の果実肥大促進を図る。
- ・ えき花芽着生が良くないほ場では、予備枝へのスコアリング処理も併せて行うと有効である。
- ・ 芽かきや夏期せん定は必要最小限とし樹勢維持に努める。

### (4) 果肉障害対策

- ・ 7～8月に曇雨天日が多くなる予報なので、「豊水」、「あきづき」、「にっこり」等で果肉障害の発生が懸念される園は、7月下旬までカルシウム剤（カルタス、カルプラス、アクアカル等）を病虫害防除と併せて葉面散布する（満開後14日から2週間間隔で5回以上）。
- ・ 降雨が続く場合は、明渠排水を設置し、根の活動低下を防止する。

### (5) その他

- ・ 高温・干ばつが続く場合は、園内の草刈りを励行し、水分競合を防ぐ。

## 5 長期予報

### (1) 1か月予報（6月6日気象庁発表 関東甲信地方6/8～7/7の天候見通し）

- 平年に比べ曇りや雨の日が多い。
- 各階級確率

気温	低い	30%	平年並	40%	高い	30%
降水量	少ない	30%	平年並	30%	多い	40%
日照時間	少ない	40%	平年並	40%	多い	20%

### (2) 3か月予報（5月24日気象庁発表）

- 予想される向こう3か月の天候

6月	平年に比べ曇りや雨の日が少ない。
7月	平年に比べ曇りや雨の日が多い。
8月	平年に比べ晴れの日が少ない。

- 向こう3か月の気温、降水量の各階級確率

【気温】						
3か月	低い	30%	平年並	30%	高い	40%
6月	低い	20%	平年並	30%	高い	50%
7月	低い	40%	平年並	30%	高い	30%
8月	低い	40%	平年並	30%	高い	30%
【降水量】						
3か月	少ない	20%	平年並	40%	多い	40%
6月	少ない	40%	平年並	40%	多い	20%
7月	少ない	20%	平年並	40%	多い	40%
8月	少ない	20%	平年並	40%	多い	40%




気象災害による農業被害を未然に防ぐため、  
技術対策情報が 携帯電話等に直接メール配信される  
「とちぎ農業防災メール」のご登録をお願いします！

併せて、気象警報・注意報等が直接メール配信される  
「栃木県防災メール」のご登録をお願いします！



↑「とちぎ農業防災メール」  
登録はコチラから



↑「栃木県防災メール」  
仮登録はコチラから